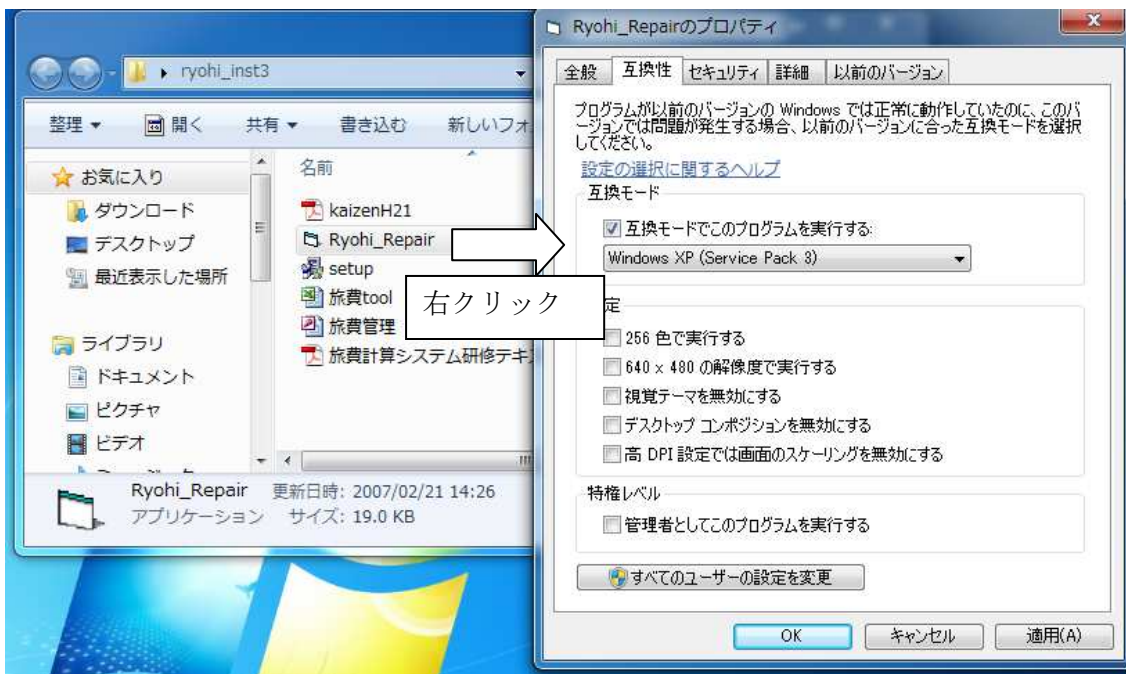


1.5 データ修復ツール

旅費計算システム起動時に、データファイルの破損によりエラーコード「3343」で異常終了する場合に、データファイルの修復を試みます。

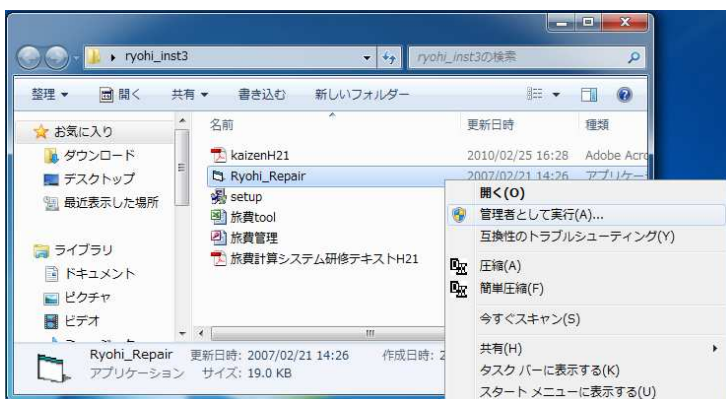


Ryohi_inst3 フォルダ (※) の中にある「Ryohi_Repair.exe」を右クリックし、プロパティを選択します。

プロパティ画面で「互換性」タブを選択し、「互換モードでこのプログラムを実行する」にチェックを入れて「OK」をクリックします。(OSはWindows XPを選択します。)

※Windows XP以前のOSの場合は、右クリックを行わず、「Ryohi_Repair.exe」をダブルクリックしてください。

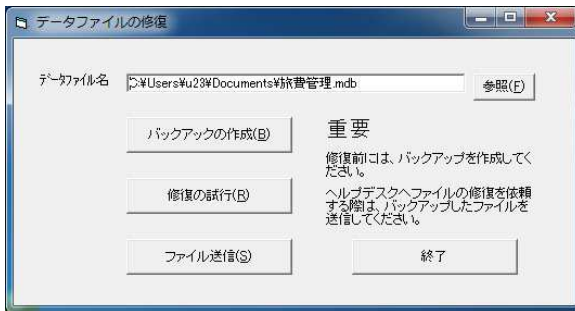
※Ryohi_inst3 フォルダについては、マニュアルの「1 旅費計算システムのインストール手順」の項目を参照してください。



「Ryohi_Repair.exe」を再度右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。



ユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合には、「はい」をクリックします。(Vista の場合は「許可」)



修復を始める前に、必ず使用中のデータファイル（C:\Program Files\Ryohi\旅費管理.mdb）をバックアップしてから修復作業を行ってください。

このツールにも、「バックアップの作成」というボタンを設けています。

データの破損にはいくつかのパターンがあり、このツールで修復できる破損パターンの発生頻度は、およそ半分程度です。

したがって、このツールでは修復できるのは、約50%となります。

※修復不能なトラブルに備えるため、定期的にデータをバックアップしてください。

※「ファイル送信」ボタンは、小・中学校等では利用できません。（県関係のみ利用可）